



令和3年1月号 Vol.39
情報メディア教育センター

新しいこと、はじめましょ。

ある占いによると2021年は200年に一度の大転換期だそう。今までの常識が通用しなくなったり、世界がひっくり変わるような事態が起りやすいそうです。そんなことで、EMC news letterもA4版にしてみました(小ッ)。読みやすくなったかな。



「わが校の今年の漢字」、諸事情により中止としました。参加してくださったみなさん、ごめんなさい。私たちも残念です。

でも今年もこりずに企画を立てていきたいと思います。まずは新春恒例の図書みくじから。よろしくお願いします。

2021年 いまから、ちゃんと、とりかかろう！



あけましておめでとうございます。新しい年が始まりました。

昨年の今頃は、新型コロナウイルスがこれほど世界に影響を与えるとは、よもやもや。これが人類滅亡の危機みたいな映画に出てくるウィルスだったら、と想像してゾッとしてるのは私だけでしょうか。

新年早々不安を煽ってしまいました。そうそう、少し前GoTo何とかのキャンペーンが話題になっていました。コロナ禍の第3波により「早く止めろ、それより経済を回せ」、「国が決める、いやいや県だ」など混乱もあるようですが、私からすれば「冬になったらまた増えるってずいぶん前から言われてたやん。何を今頃?」と、「ど偉いさん」のダサい仕事ぶりや無責任な外野の声には少し辟易とさせられます。

このGoTo何とか、私個人としては完全に乗り遅れてしまいました。「よくわからん」「まあのうち」などとボサっとしてたら「え、もう終了したの?」と。周りで“どんだけ得した”とかを聞くと、別に損したわけではないのですが、そう感じるのが庶民というもの、後悔先に立たずです。しかし、私、最近段々と新しいことが面倒になってきてまして、これではダメだ!今年の目標はそんな気持ちを引き締めたいこうかと考えたりもしています。

新しいことに対するアレルギーは生徒のみなさんには心配ないと思いますが、今年は学校全体のICT環境が大きく変わります。2月には新しく数百台の生徒用のコンピュータが整備されたり、教室に無線LANが設置されたり、♪~本気でICT始めました~♪。

なんで? 話せば長く堅い話になりますので簡単に。

スマホ無しでは生きていけないという人も多いですが、

スマホだけでは、できることが限られて全然足りないのです。この先の社会では、いろんな情報を集めて使いこなす力がどうしても必要になります。ICTはそのための道具です。どう使わなければいけないかは決まっていません。先生と生徒の皆さんがどう使うかで無限に広がっていくはず。失敗しても大丈夫、困ったら全力でサポートします。



初めに使い方は学ばなくてははいけません、が、「よくわからん」「まあのうち」などと言っていると、もったいないことになってしまいますよ。I(いまから)C(ちゃんと)T(とりかかろう)です。

今年もよろしくお願いします。



新着図書ピックアップ



『はじまりの日』

ボブ・ディラン【作】/ポール・ロジャース【絵】
/アーサー・ピナード【訳】

2016年、ノーベル文学賞に輝いたミュージシャン「ボブ・ディラン」。「風に吹かれて」、「ライク・ア・ローリング・ストーン」など有名ですが、本書の「Forever young」も息子を想って作った暖かい曲です。翻訳者アーサー・ピナードが彼ならではの意識でタイトルを『はじまりの日』として、一冊の絵本になりました。「毎日が きみの はじまりの日 きょうも あしたも あたらしい きみの はじまりの日」の一節が人気。他にも「流されることなく 流れをつくりますように」、「きみが 手をのばせば しあわせに とどきますように」など、随所に詩の力を感じます。ポール・ロジャースの絵もまた味わい深いです。この春、新たな一歩を踏み出す人に一。(大塚)



『ビビる大木、澁谷栄一を語る』

ビビる大木【著】



2021年大河ドラマ『青天を衝け』の主人公は澁沢栄一です。1万円札でもおなじみですね。では、どんな人なのでしょう。

歴史好きで知られるビビる大木が、同郷ということで、澁沢栄一の言葉から影響を受けて学んだことを綴っています。と言うよりむしろ、著者の芸人人生についての方に重きを置いているような…。とにかく、日本の株式会社をつくった男と呼ばれる澁沢栄一ですが、その生涯や、彼の遺した言葉を詳しく知る方は少ないのではないのでしょうか。著者が選んだ10の訓言、珠玉の言葉が、著者を励ましてくれたそうですよ。この本を読んでドラマが楽しみになりました。歴史も学べますよ。(尾崎)

『Au オードリー・タン 天才IT相7つの顔』

アイリス チュウ、鄭 仲嵐【著】

新型コロナウイルス感染抑制で世界的にも注目された台湾のデジタル担当相、オードリー・タン。台湾で最年少の35歳で大臣となった天才の半生を、台湾人ジャーナリストが書いた評伝です。タンの様々な逸話と共に「人工知能は永遠に人間の知恵にとってかわることはない」「大勢の人に行うことは、大勢の人の助けを借りる」などの言葉や習慣、人生で影響を受けた20冊の本なども掲載されています。(大原)



新着ピックアップは毎月、司書が「これはぜひ読んで！」と思う本を選びすぐってお届けします。上記以外にも新着図書がたくさん届いています。カウンター前の新着コーナーをご覧ください。



『逆ソクラテス』 伊坂幸太郎【著】

明けました 2021 年。受験生の皆さん受験勉強お疲れさまです。今年こそは、何気ない日常が戻ることをただ祈るばかりです。

さて、今回の紹介する本は、大塚さんよりオススメいただいた本ですので、面白いに決まっています！

本書は『逆ソクラテス』・『スロウではない』・『非オブティマス』・『アンスポーツマンライク』・『逆ワシントン』の5つで構成されている短編小説。短編小説は、それぞれ独立した作品が多い？と思いますが、本書は全5編が独立したぶつ切りの要素がなく、登場人物など繋がっている部分や伏線回収の要素もあるので、ただの短編集ではありません。(短編小説2冊目の私が声を大にして言えませんが…)

全5編の主人公はすべて小学生。スクールカースト、不公正、偏見、いじめといった誰もが経験した、いや、現在進行形の方もいるでしょう。そんな、今も昔も存在する難問にどのように物事を捉え問題を解決すれば良いのか。そんな「する側」と「される側」の立場が逆転するスカッとする場面も…。自分自身の物事の捉え方を改めさせてくれる作品であり、読者側も読みながら考えさせられる作品です。

本書のタイトルにもなっている『逆ソクラテス』の物語を紹介。舞台は小学校。ある児童に対し、何をやらしてもダメな子だとレッテルを貼る担任の先生の「先入観」を変えるために、カンニングをさせて高得点をとらせる。美術館の作品を盗んでその児童の作品として提出する。たまたま学校に来た一流のプロ野球選手に担任の前で「筋があるね」と言ってもらうなど、クラスメイトたちがあの手この手の作戦を立てて担任の「先入観」を変えるために奮闘します。でも、実際に変わったのは…



『逆ソクラテス』 伊坂幸太郎(著)

1月	
1 金	休館
2 土	休館
3 日	休館
4 月	休館
5 火	休館
6 水	8:10-16:50
7 木	8:10-16:50
8 金	8:10-16:50
9 土	休館
10 日	休館
11 月	休館
12 火	8:10-18:50
13 水	8:10-18:50
14 木	8:10-18:50
15 金	8:10-18:50
16 土	休館
17 日	休館
18 月	8:10-18:50
19 火	8:10-18:50
20 水	8:10-18:50
21 木	8:10-18:50
22 金	8:10-18:50
23 土	休館
24 日	休館
25 月	8:10-18:50
26 火	8:10-18:50
27 水	8:10-18:50
28 木	8:10-18:50
29 金	休館/館内整理
30 土	休館
31 日	休館



第34回 坂崎 恭平先生おすすめ

『14歳から知る影響と連鎖の全世界史』 大角修【著】

この本は、世界史を勉強している生徒に対して紹介します。

まず、14歳からと書かれているように、これだけでは模試や入試では対処できないと思いますが、世界史のヨコのつながり(影響と連鎖)、ヨコの歴史は模試や入試の際に必要な視点となります。教科書の、地域ごと、細分化された時代ごとのタテの歴史だけでは、理解しにくい部分もあるかと思えます。教科書のタテの歴史と同時代のヨコの歴史を複合させるために、この本でヨコの歴史の視点を持って欲しいと思い、紹介しました。

※お薦め本はリレー連載です。次のバトンはどなたに渡るかな？



1月の特集コーナー

「誰も借りてくれなかった本」フェア

残念です



毎月、生徒の皆さんに楽しく本を読んでもらえる様に時間をかけて選書作業をしていますが、なぜか一度も手に取られず書架で眠っている本があるんです。そう「誰も借りてくれなかった本」です！今年度は新着本コーナーの動きがことのほか良く、好調だなぁと内心喜んでいたのですが、ナント、貸し出しが一回もない本も結構あるということで…。いったいどういうこと？司書の言いわけも聞いて下さい！

司書・大原のぴえん。。。

「うう。。。」

毎月、生徒の皆さんにいろんな本を読んでほしいと願い、中高生の新聞や雑誌、本屋やメディアなど調べて選書しております。ですが、このような結果。中には、手にもとってもらえていない本もあるのでしょうか？残念無念。まだまだ修行が足りないです。。。

今後とも試行錯誤してまいります。

I must take a trial-and-error approach. 読書がもたらすストレス解消や視野が広がる効果が、今のコロナ禍でより役立つのを感じてくれると信じて。多くの人が図書館に来てくれることと思っています

司書・大塚のいつか、誰かが…
「読みたいタイミングってあるらしい。いつかは借りてくれる！」

みんなが喜んでくれるかなとか、勉強によさそうとか、あれこれ考えて一冊入魂の思いで選書した自信本が全く手に取られないとちょっとショック。ポップ書いたり、そこらへんの生徒さんつかまえて、「コレ読んでみ！」と強引に薦めることもあります。

だけど時々こちらもその存在に気が付かなかったような本を探しだし借りてくれる生徒さん、いるんですよーうれしいことに。だから、今は目に止まらなくても、いつかきっと本棚に埋もれていたところを見つけ出してきて、読んでもらえる日が来ることを信じてますよ。もちろん！

司書・尾崎のビックリです！

「本と一緒に待っています」

こんなにもたくさん借りられたことがない本があるなんて！私の選書が受け入れられなかったのか。本の好みは多様ですからね。表紙がステキだったり、帯に衝撃的なコピーがある本は人気がありますね。そんな本も欠かせません。私は一般書の本を選書することが多く、選んだ本を手にとってもらえるだけでも、お～って感じですが、借りられないと、あ～って言う思いです。聞かれた本がちゃんとあるように、調べ学習も見据えてあらゆる分野を取り揃えて、こんな本もあるの？と思ってもらいたい今日この頃です。

読みたまえ！

借りたまえ！

いずれにしてもとっても残念。そこで司書の推しコメ付きでリベンジ本を並べてみました。だまされたと思って読んでみよう！あなたの貸出で、本たちが無事成仏します！

図書館からのお知らせ

- ・EMC 特別企画 パソコン練習会 『パワボやろう！』 まだまだ受講者募集中！
(全三回) 1/12 は 2 部制で 14:00~15:00 と 16:50~17:50 です。
1/18 と 2/1 は 16:50~17:50 です。
- ※定員 7 名 お申込みはお早めにカウンターまで！もちろん無料です。
- ・1月12日より開館時間延長します。(～18:50)。受験生の皆さん、応援しています。



編集後記

今年も皆さんにたくさんの本との出会いがありますように。忘れられない大切な一冊が見つかりますように。(大塚)



本年も
よろしく